

上毛町は、小規模な事業者が多く、全体的に雇用の受け皿は稼ぐ力が高い輸送用機械製造業及び建設業となっています。一方で、上毛町及びその近郊には自動車関連産業が集積し、就労環境が整っていることから、地域の労働力が町外の輸送機械製造業者などに流出している傾向がみうけられます。建設業者においては、慢性的な人材不足が続いておりICTの活用工事へ参画するなど生産性向上、若手従業員の早期技術承継に向けた整備が必要と考えられます。中小企業景況調査結果の従業員過不足DIでは、建設業は若干改善されましたが、多くの事業者が従業員不足している状況と推察されます。

下半期（11月）の中小企業景況調査における経営上の問題点は以下の通りです。

	今期直面している経営上の問題点(構成比)				
	1位(%)	2位(%)	3位(%)	4位(%)	5位(%)
製造業	原材料価格の上昇 31.8	需要の停滞 16.3	従業員の確保難 9.9	生産設備の不足・老朽化 9.3	製品ニーズの変化への対応 6.2
前期	1位 34.4	2位 15.6	3位 9.4	4位 8.4	6位 5.5
前々期	1位 38.3	2位 14.5	3位 8.4	4位 7.9	6位 5.7
建設業	材料価格の上昇 37.4	従業員の確保難 17.1	熟練技術者の確保難 8.2	民間需要の停滞 7.0	官公需要の停滞 6.6
前期	1位 40.4	2位 16.5	3位 7.0	5位 6.3	4位 6.8
前々期	1位 42.9	2位 16.3	5位 6.5	4位 6.6	3位 7.1
卸売業	仕入単価の上昇 29.7	需要の停滞 18.4	従業員の確保難 9.7	人件費の増加 8.1	人件費以外の経費の増加 7.9
前期	1位 30.3	2位 18.7	4位 8.3	5位 6.3	3位 8.4
前々期	1位 33.8	2位 18.2	3位 9.0	5位 5.5	4位 7.5
小売業	仕入単価の上昇 27.3	需要の停滞 13.4	消費者ニーズの変化への対応 13.0	購買力の他地域への流出 8.5	大・中型店の進出による競争の激化 8.0
前期	1位 26.9	3位 12.8	2位 13.2	4位 8.6	5位 8.0
前々期	1位 28.4	3位 12.8	2位 13.2	4位 9.0	5位 8.0
サービス業	材料等仕入単価の上昇 26.5	利用者ニーズの変化への対応 12.2	従業員の確保難 10.5	需要の停滞 9.6	人件費以外の経費の増加 9.3
前期	1位 28.7	2位 11.5	3位 10.3	5位 10.0	4位 10.2
前々期	1位 28.6	2位 12.2	3位 10.7	5位 9.7	4位 9.8

全ての業種で「仕入価格の上昇」が3期連続で1位となっています。産業別原材料・商品仕入れ単価DI（「上昇」・「低下」、前年同期比）の推移では、小売業において若干のプラス（0.1ポイント増）、一方、小売業以外の業種においてプラス幅が縮小しています。しかし、依然としてDIは高い水準で推移しており物価上昇の影響を受けている事業者は多いと推察されます。

「従業員の確保難」が建設業で2位、製造業、卸売業で3位となっています。従業員数過不足DI（「過剰」－「不足」）、今期の水準は製造業、建設業、小売業、卸売業でマイナス幅が拡大しており、サービス業のみマイナス幅が縮小しています。特に建設業のDIは▲39.9と業種で最も高く長年人手不足の状況が続いています。建設業においては、今後さらに労働人口が減少する中で生産性の向上、働き方改革の推進、賃上げなどに取組む他、さまざまな媒体を通じて自社の情報発信をする必要性を感じます。